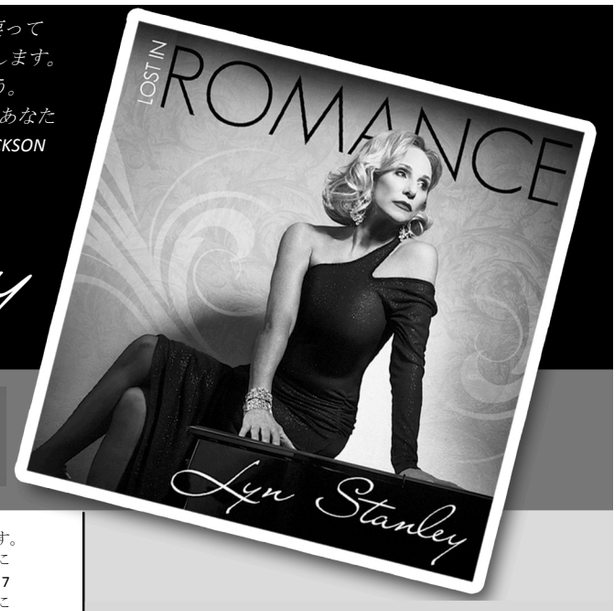
あなたを放送する機会を得たことは、聴衆と共有したい特権です。ジャズに女性の歌手が戻ってたことに感謝しています。あなたの声はアメリカの歌本に定義される歌詞に生命をもたらします。のナチュラルなレベルや優雅さや調性はジャズラジオを多くの喜びをもたらすことでしょう。なたはユニークな存在であり、私たちは熱狂的なまでにあなたの歌が大好きです。 それはあなた声を通して歌に生命が戻ってくるからです。」 ロサンゼルス KKJZ ラジオ、ＤＪ BUBBA JACKSON

Lyn Stanley



私がこれまで聞いたもので、ジャズ音楽の偉大な時代への最も心からの美しい賛辞の一つ。クシーで情熱的で滑らかな歌声を持ち、ルックス、才能、それに私には分からないほど殊なものを持ち合わせた女性に実演された傑作。」 - GREIGWARE REVIEWS

リン･スタンレーのアルバム『ロスト・イン・ロマンス』は批評家の称賛を受け、国内外で放送されています。ディスクジョッキーたちは、そのアルバムに沸き、観客はトラックに「興奮」しています。米国で二番目に大きいジャズのラジオ局であるKKJZラジオは、新しいアルバムとしては特別の、放送用にこのアルバムから7曲を選びました。KKJZラジオパーソナリティのバッバ･ジャクソンは、リン・スタンリーについて「ジャズに女性の歌手が戻って来たことに感謝しています。あなたの声は作曲家が意図したとろりに歌詞を生かしてくれます。」と語り、またブロードウェイワールドのドン･グリグウェア氏は、『ロスト・イン･ロマンス』のアルバムは「今まで聞いたうち、ジャズの偉大な時代への最大の賛辞の一つ」だ、と述べています。

世界一流のジャズピアニストであり伝説でもあるポール・スミス氏に2010年に発見された、その出会いから四ヶ月後、リン・スタンレーは世界で最も有名な伴奏家とそのトリオと共に歌手としての活動を始めました。

リンは、歌手ダイアン・シューアやジャニ・ペイジらの郷里と同じ、ワシントン州のタコマに生まれました。リンの父親はエロール・ガーナーの方法で耳で聴いてピアノを演奏し、リンは幼い頃から熱心に耳を傾けていましたが、家族は用心してリンにショービジネスに入るように薦めることはしませんでした。リンの父方の祖父はブルガリア出身の移民で、ソフィア市の元オペラ歌手、また母の弟はアイルランド系子孫で、カリフォルニア州のロングビーチの地元の劇場グループでテノールを担当して歌っていました。リンはその幼年期をカリフォルニアで過ごし、大学時代の短期間をフロリダ州のオーランドで修了し、カリフォルニアに戻って修士号を得て、ミシガン州のイーストランシング市で博士号を取得するためのプログラムに出席しました。それから、ジョージア州のアトランタに引越して長年暮らしていました。彼女はその後、病気の母親の世話をし、また、プロのボールルーム国際標準米国チャンピオンと世界ファイナリストとして、全国社交ダンスのチャンピオンになるための訓練を受ける目標を追い、2006 年にカリフォルニア州に戻りました。

リン・スタンリーは、サイドドア社交ダンスを通じて歌の世界に入りました。彼女は 2004 年にダンスを始め、早々と社交ダンスの国際標準スタイルでプロやアマチュアのチャンピオンになる勉強を修了し、2010 年には三つのイベントと二カ国のタイトルを獲得しました。また、その同じ年には、同じスタイルで世界タイトルのイベントで三位に輝いています。彼女のダンスの経歴はそのリズム感覚を導き、歌うスタイルには、特に彼女独特の声の音色に添えられると際立っています。

2011 年 2 月 13 日に彼女の舞台デビューに続いて、伴奏者であり、作曲家また編曲者のポール･ スミス氏に伴われて、リンはエール大学で歌手の訓練プログラムの国際公募に受け入れられました。そこで、リンはこの業界で活躍中の最高のパフォーマーの一部とワン・ウーマン・ショーの訓練に向けた準備をする方法を学んだのでした。

最初のショー『メイキン・ホウィッピー』は、スタジオシティの Vitello’s の Sterlings Upstairs（ロサンゼルスのジャズクラブ）とカリフォルニア州のパームデザートの舞台芸術のジョスリンセンターで公演され、観客から好評を得、また批評家からはファンのためのアルバムを製作するよう呼び出しがかかりました。彼女のデビューアルバム『ロスト･イン・ロマンス』は、社交ダンスのリズムとテンポをジャズの解釈で提示するという彼女のアイデアから生まれました。究極のところ、ジャズは最初ダンスホールで演奏され、その後、現在の一般的な楽器のソロへと移動したのですから。

『ロスト･イン･ロマンス』は、四つの別々のトリオとソリストで形成したロサンゼルスの 13 の最高のジャズミュージシャンを組み合わせたユニークなアルバムです。このアルバムは、恋愛の繰り返しとその試練と苦難、喜びや失望の順番で物語のように構成されており、曲順で聞くと最も楽しめるようになっています。曲が従来の Great American Songbook の曲を含むだけでなく、ブルースやジャズアレンジでダンサーの視点から演じるブロードウェイの『Losing My Mind』にも踏入れています。アルバムのミュージシャンやスターのアレンジは、バーブラ･ストライサンド、ベット･ミドラーとナンシー･ ウィルソンを含むアメリカで最も偉大なアーティストたちの伴奏経験豊かなタミール･ヘンデルマン、スティーブ･ローリンズ、ファーストア･マシューズによるものです。

2013 年 8 月 27 日には、そのアルバムのリリースから一週間後の、ハリウッドのカタリナ･ ジャズ･ クラブでの『ロスト・イン・ロマンス』アルバムのリリースパーティーで、リン・スタンレーはまたアルバムのライナーノーツを書いたジャズ評論家、ドン･ ヘックマンから批評家の称賛を受けました。そのリリースパーティには、アルバムの七人の演奏家であるタミール･ヘンデルマン、マイク・ラング、ファーストア･マシューズ、ジム･デフリオ、バーニー・ドレゼル、ボブ・マクチェズニー、スティーブ・ローリンズにさらにリッキー・ウッダード、ドメニック･ジェノバ、グラント･ゲイスマン、が含まれています。ショーは満員で、リンがアルバムから歌っている間、観客にはプロのラテン社交チャンピオンの踊りが披露されました。またスタンリーの仕事の大の支持者でジャズ評論家や作家のスコット･ヤーノーも出席しました。

ポール･ スミスは、死の前の2013年6月29日に『ロスト･イン･ロマンス』を聴きました。彼はリンのメンターとして、アルバムに非常に満足し「A++」の評価を与えました。ポールを知っていた人々は、彼から褒められることは稀であり、遭遇したすべてのミュージシャンや歌手への彼の期待が高かったことを証明しています。他界する前に、彼はリンの10枚目のアルバムのためにも生きていたいし、また他の人も彼と同じほどリンの仕事を理解してくれることを信じている、とリンに打ち明けています。

素晴らしい ポール・スミス (1922-2013)氏に捧ぐ

Lyn Stanley, PO Box 73696, San Clemente, CA 92673
Eメール: info@lynstanley.com
ウェブ: www.lynstanley.com

1- CHANGE PARTNERS- 4:45
2- WATCH WHAT HAPPENS- 4:00
3- FEVER - 4:08
4- THAT OLD BLACK MAGIC - 4:00
5- THE NEARNESS OF YOU - 5:18
6- YOU GO TO MY HEAD - 5:00
7- I JUST WANT TO MAKE LOVE TO YOU- 3:48
8- MY FOOLISH HEART- 4:26
9- WHAT AM I GONNA DO WITH A BAD BOY LIKE YOU?- 3:36
10- LOSING MY MIND - 4:47
11- ONE FOR MY BABY - 4:07
12- SUGAR ON THE FLOOR- 4:29
13- TOO CLOSE FOR COMFORT - 2:40
14- SOMETHING- 3:54
15- THE LAST DANCE- 3:09

その豊かな低音、美しい抑揚や表現や豊かな解釈で有名なリンは、スコット･ヤーナウに「優れた歌手」と言われ、ドン･ヘックマンには「潜在的に重要な
新しいタレント」であると言われている。

特集

タミール･ヘンデルマン、マイク・ラング、リュー･マシューズ、ジェフ･ハミルトン、バーニー･ドレセル、ポール・クレイビッキ、トレイ・ヘンリー、ジム・デフリオ、ケビン・アザト、ボブ・ジェパード、ギルバート･キャスルラーノス、ボブ･マクチェズニー、トム・ロテラ。

ボーカルはすべてリン･スタンレー担当

© 2013 BY LYN STANLEY, A.T. MUSIC, LLC

PRODUCER – STEVE RAWLINS

ロスト･イン・ロマン

LOST IN ROMANCE